

沖縄はアメリカのものではありません！

軍事拡大ではなく市民のための社会を

沖縄は80年前、「本土決戦」引き延ばしの「捨て石」にされました。米軍との戦争に総動員され、県民の4人に1人の命が奪われました。その後、日本政府は再び沖縄を切り捨て、米軍占領下で人権が蹂躪（じゅうりん）され続けました。沖縄県民は自らのたたかいで1972年5月15日に占領を打破しましたが、その後も日米安保条約で広大な米軍基地がおかれ、さらに自衛隊基地も大増強され、現在も戦争の危険にさらされています。

完成見込みのない基地建設に税金投入

沖縄県名護市辺野古・大浦湾への米軍新基地建設は軟弱地盤対策がなされず完成の見込みがありません。かかった費用は6400億円と既に政府見積もりの7割を超えますが、工事の進捗状況は16%。建設費用には日本の税金が使われて続けています。この問題が争点となる名護市長選挙が25日投開票で行われます。

日本の戦争参加を示唆する危険な立場

高市首相による「台湾有事」を巡る国会答弁は波紋を呼びました。それは米軍の戦争に自衛隊が参戦することを示唆した内容であり、実態としてもアメリカ言いなりに沖縄・南西諸島を対中国封じ込めの最前線に位置付け、軍事要塞化を進めています。これは日中関係を極度に悪化させ、緊張を高め、沖縄・南西諸島、全国を戦場化する危険を高めるものであり、撤回すべきです。



武力による国際秩序の破壊
アメリカによるベネズエラ侵略を許すな

トランプ米大統領は1月3日、ベネズエラに攻撃を行い、同国のマドゥロ大統領とその妻を拘束し、米国に連行しました。「安全で適切な政権の移行が実現するまで、我々がベネズエラを運営する」と表明。これは、ベネズエラの国家主権を蹂躪し、武力によって他国の政権の転覆をはかる国連憲章違反の侵略行為であり、断じて許されません。ベネズエラの国家主権はアメリカのものではありません。



普天間基地の無条件撤去・辺野古新基地建設中止を求める署名にあなたも！
名護市長選（1月25日投開票）で新基地建設反対派の勝利を——ご支援をお願いします
支援募金の送り先：沖縄県統一連＝郵便振替口座 01710-8-62723



日本平和委員会

2026年1月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

「平和新聞」(旬間)、「平和運動」(月間)発行中

<http://j-peace.org/> (X) (F)

